

普及現地情報

発信年月日：令和3年(2021年)3月2日
所属名：湖東農産普及課
番号：F20026
部門分類：120(麦・豆・雑穀)
発信者名：鋒山 須戸

GPS 速度連動機能付きブロードキャスターを活用した小麦「ふくさやか」の 後期重点施肥技術における省力的な穂肥散布の実演会を開催

令和3年2月22日に甲良町尼子の現地ほ場にて、(株)クボタの協力のもと、小麦の後期重点施肥技術における省力的な穂肥散布の実演会を開催しました。本実演会は、管内への後期重点施肥技術の普及に課題となっている穂肥散布時の作業負担を改善する事を目的としています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加人数を大幅に制限しての開催となり、生産者や関係機関合わせて16名の参加がありました。

本散布機では、作業時間の大幅な短縮はもちろん作業人員の削減も可能で、従来に散布の重複を避けるため必要だった走行経路の補助員を省略できます。また、「GPS 速度連動機能」により、実際の車速に応じて散布量を自動で調整するため、ほ場ごとでスリップ率の差による散布ムラは一切なく、均一な穂肥散布が行われました。

実演会に参加した生産者からは「動力散布機よりも明らかに作業時間が短い」と関心の声がかかれた一方で、「散布幅が大きく重なるような場面もいくつか見られた」との意見もあり、省力的な穂肥散布技術として導入するにはまだ課題があることが分かりました。

当課では今後とも関係機関に対し、スマート農業をはじめとする新技術に関して積極的な情報共有を行い、管内での小麦後期重点施肥技術の普及に向けて取り組んでいきます。



メーカーと協議しながら
散布機の調整を行う生産者



散布機に関する説明を熱心に聞く生産者